

時の命名こそ支配一年号から読み解く東アジアの思想と文化

多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相、選定の手続き、為政者の思惑等々、多様な視点で読解！

年号と東アジア

—改元の思想と文化—

水上雅晴編・編集協力 高田宗平

(中央大学文学部教授／中国哲学) (中央大学兼任講師・大阪府立大学客員研究員／日本古代中世漢籍受容史)

平成 31 年 (2019) 4 月 30 日刊行 定価 (本体 12,000 円+税)

A5 判・上製・カバー装・792 頁+カラー口絵 (32 頁) ISBN978-4-8406-2227-1 C3021 12000E

- 平成 31 年 (2019) 4 月 30 日、「平成」が終わり、新たな「令和」へ——「年号」は単に時を表すだけでなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。
- 漢代に始まり周辺諸国に広まった年号。日本では大化 (645-649) から令和まで 248 の年号が使われ、1300 年間以上途切れることなく、現代まで使い続けている世界で唯一の国である。
- 本書では、日本のみならず、地域は中国・朝鮮半島・ベトナム、時代は古代から近代までを検討の対象とし、年号を軸に、時代による差異、国家による特質などを論じる。
- 執筆者は中国哲学、中国科学思想史、日本漢学、日本史 (古代・中世・近世)、朝鮮史、ベトナム史、日本思想史、倫理学、日本文学、国語学、日本法制史、書誌学など多彩。
- 言語・王権・ナショナリズム・正統性・儀礼・術数・暦法・古記録などを切り口に、年号の思想・文化を明らかにした初の横断的、学際的、総合的研究。
- カラー口絵「年号を決める—記録・文書・漢籍—」では、国立歴史民俗博物館所蔵品を中心に、資料写真約 50 点を 32 頁にわたりカラー掲載。時に名前をつける、年号を決める人々、年号の決め方、年号と漢籍の 4 幕にわたり、豊富な図版で年号の決定にまつわる事項を紹介。

【日本・中国・朝鮮半島・ベトナムの年号 (本書の論考の趣旨を一部紹介)】

日本の年号 (248 個。大化 [645] ~令和 [2019])

- 為政者の思惑:南北朝それぞれに建てられた年号は、皇統の正統性を表す政治的な思惑だった。
- 学問の家の思惑と対策:年号案を提出する資格は紀伝道を家職とする者に限られており、彼らにとって自身の案が採用されることは、家格の維持に必要なことであった。
- 出典となる漢籍:年号は漢籍から選ばれた。なかには現存しない漢籍からの引用もあり、漢籍の失われた本文を知る手がかりとなる。

中国の年号 (約 456 個。漢~清 [1911])

- 政治制度:年号には権威・正統性の主張・国運が現れており、年号の分析を通して、その文字の背後にある思想と文化を読み取ることができる。
- 最先端の学問:術数、暦法等、年号は最先端の学問を駆使して決定された。

朝鮮半島の年号 (近代以後、5 個 [1894-1910、1948-1961])

- 中国年号の利用:近代以前の独自年号はごくわずかで、原則として中国の年号を採用した。
- ナショナリズムの表象:近代になり制定された 5 つの年号はナショナリズムの表象として制定された。

ベトナムの年号 (148 個 [970-1945])

- 初のベトナム年号史:二王朝並立の年号、銭貨にみえる年号などを総括し、年号の歴史をたどる。



【目次】

カラー口絵 「年号を決める—記録・文書・漢籍—」

序 一本書の概要と意義— 水上雅晴

総論 所 功 「日本年号の来歴と特色」

第一部 文字・言葉・記録

- 1 小川剛生 「迎陽記の改元記事について」
- 2 石井行雄・猪野 毅・近藤浩之
「金沢文庫本『群書治要』移点の意味」
- 3 高田宗平 「年号勘文から見た日本中世における類書利用—『修文殿御覧』をめぐって—」
- 4 大形 徹 「年号と貨幣—中国貨幣「漢興」「大夏真興」を起点として—」
- 5 名和敏光 「中国出土資料紀年考」

第二部 朝鮮・ベトナムと年号

- 1 月脚達彦 「近現代朝鮮のナショナリズムと年号」
- 2 ファム・レ・ファイ 「ベトナムの年号史試論—丁・前黎・李・陳朝期（十世紀～十四世紀）の事例を中心に—」

第三部 年号と正統性

- 1 清水浩子 「年号と王朝交代」
- 2 多田伊織 「受命と改元—漢末の改元をめぐって—」
- 3 甘 懐真 「東アジアにおける四～六世紀の「治天下大王」と年号」
- 4 福島金治 「鎌倉期の年号勘申者の家と公武政権」
- 5 田中大喜 「南北朝期日本の不改年号と私年号」

第四部 「時」の支配

- 1 童 嶺 「五胡十六国前期「列国元年」紀年研究序説」
- 2 久禮旦雄 「平安時代初期の王権と年号」
- 3 鶴成久章 「「一世一元」制度の淵源—明朝の年号をめぐって—」

- 4 大川 真 「近世日本における一世一元論」
- 5 清水正之 「年号と暦法—本居宣長における作為「人作」と自然「神作」—」

第五部 改元の思想的要素

- 1 鄭 吉雄 「天命・暦法と年号」
- 2 赤澤春彦 「日本中世における改元と陰陽家」
- 3 水口幹記 「祥瑞改元から災異改元へ」
- 4 尾形弘紀 「文字の想像力と改元—改元における「キヤンプ」なるものをめぐって—」
- 5 水上雅晴 「難陳—朝廷における改元議論の実態—」

第六部 年号と時間

- 1 武田時昌 「中国古代の暦運説—数理と展開—」
- 2 細井浩志 「日本の古代における年号制の成立について」
- 3 末永高康 「術数の原理—『兼良公三革説』を中心に—」
- 4 吉野健一 「近世民衆の年号認識—噂や狂歌を事例として—」

第七部 資料紹介

- 1 高田宗平 「国立歴史民俗博物館所蔵「〔経光卿改元定記 寛元 宝治 建長〕」—影印、附・略解題—」
- 2 所 功 「霊元上皇宸筆 国立歴史民俗博物館所蔵「年号事」覚書」

附 録

- 1 索引（事項・人名・年号・史資料）
- 2 続群書類従 改元関係記事索引（石井・猪野・近藤）
- 3 中国・日本・朝鮮・ベトナムの公年号一覧

あとがき 水上雅晴
執筆者一覧

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	水上雅晴編／八木書店刊		2019年4月30日刊行	取扱店（番線印）
	年号と東アジア —改元の思想と文化—		{ } 冊	
	ISBN978-4-8406-2227-1 C3021 ¥12000E 定価（本体 12,000 円＋税）			
	お名前（ふりがな）		TEL	
ご住所 〒		FAX		
		E-MAIL		